

2013年4月2日

「GlobalEnglish 日経版」の提供開始について

日本経済新聞社

株式会社日本経済新聞社（代表取締役社長・喜多恒雄）は4月24日より、ビジネス英語をオンラインで学ぶ「GlobalEnglish（グローバルイングリッシュ）日経版」の提供を開始します。初級者から上級者まで学習者のレベルに応じた難易度の学習内容に加え、新聞記事も教材として使いながら、実践的なビジネス英語を学習するプログラムです。忙しいビジネスパーソンが自分の生活スタイルと目標とする英語レベルに合わせ、質の高い時事英語とビジネス英語をバランスよく習得できるのが特徴です。

英教育・メディア大手で英フィナンシャル・タイムズ（FT）紙などを傘下に置くピアソン社と連携し、世界約170の国と地域で利用実績のある同社のビジネスパーソン向け英語学習プログラムをもとに、英語の基礎と応用の習得に必要な約1,000時間分の演習を用意しました。それぞれのレベルに応じてスタートできるうえ、題材はビジネスマナーから開発プロジェクト、経営管理まで幅広いビジネス場面を扱います。日本経済新聞やFTの最新の英文・和文記事も教材に活用。記事は週次で教材に追加されます。従来の一般的なオンライン英語学習教材では経済・ビジネス分野に重点を置いたものは少なく、実践的なビジネス英語を独学で習得したいビジネスパーソンのほか、6月からは海外人材の育成を目指す企業など法人向けに販売していきます。

■ サービス概要

サービス名称： GlobalEnglish 日経版

提供主体： 日本経済新聞社

販売価格： 個人向け 36,000円（税別）/6カ月、法人向け 60,000円（税別）/12カ月

提供方法： クラウドベースのオンライン型学習プログラム

学習開始： 個人向け 4月24日（水）

* 4月2日からは先行予約キャンペーンを実施

詳細は公式サイト <http://www.globalenglish.nikkei.co.jp>

* 法人向けのサービス開始は、6月を予定

主な特徴：

- ① ビジネス英語に特化——ビジネスマナーから開発プロジェクト、経営管理など幅広いビジネスシーンを設定した演習をもとに、日常会話とは異なるビジネス現場での表現などを学べる。業種や職種別の演習も用意。

- ②時事英語の充実——日本経済新聞や FT の記事などをもとに作成した独自教材で、ビジネスに役立つ時事英語の習得が可能。
- ③いつでもどこでも誰でも——クラウド型のオンライン学習プログラムのため、時や場所を選ばずに学習できるほか、週次で教材がアップデートされる。レベル分けテストにより常に最適なレベルで受講できる。
- ④豊富なビジネスサポートツール——辞書、自動翻訳機能、英文電子メールのテンプレート、業界別の専門用語リストのほか、世界中の音声特徴に合わせた英文の読み上げ機能など、ビジネスシーンで役立つ機能が充実。
- ⑤インタラクティブな学習内容——週に1回、他の受講生とともに「ライブ英会話レッスン」が受けられるほか、講師による作文添削なども実施。

■受講方法（個人）

公式サイト（URL <http://globalenglish.nikkei.co.jp>）にアクセスし、利用申し込み手続きを行っていただいたのち、学習に必要な ID とパスワードをお送りいたします。

■受講期間

個人向けの受講期間は、ID とパスワードが発行されてから6カ月間となります。

■サイト画像は下記からダウンロードできます。

<http://globalenglish.nikkei.co.jp/press/20130402.html>